



Koharada 150th
Anniversary



小原田小だより

令和6年度 No.2
令和6年4月10日
郡山市立小原田小学校
文責 校長 佐久間誠

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

11 住み続けられるまちづくりを



17 パートナシップで目標を達成しよう



第1学期始業式と入学式を行いました

4月8日(月)に着任式・第1学期始業式を行いました。

新たに10名の転入職員を迎え、創立150周年にあたる令和6年度をスタートした小原田小。6年生を中心に、しっかりと話を聞く小原田小の子どもたち。体育館が引き締まり、子どもたちの「頑張るぞ」という気持ちが伝わってきて、とてもうれしく思いました。

「始めが大事」ということわざがあります。

- 「物事は最初が肝心で、初めにとった態度や方法がそのまま終わりにまで影響することになることが多い。そこで、物事を手がけるにはよく考えて準備し、最初から万全の態勢でやり抜かなければならない。」といった意味です。

そこで、学校のスタートにあたる第1学期始業式の中で、1学期に期待することとして次の三つを2年から6年の子どもたちに話しました。

- 一人一人に、頑張る目標を決めてほしいこと。一人一人が違うように、目標も一人一人が違う。自分で立てた目標に向かって頑張る姿を楽しみにしていること。
- 友達と仲よく協力してほしいこと。学校にはたくさんの子どもがいて、みんな一人一人、得意なことやできることが違う。友達のよいところをたくさん見つけて、友達と仲良く過ごしてほしいこと。いじめや仲間外れをしないで、協力して過ごしてほしいこと。
- 先生や友達の話を中心して聞いてほしいこと。先生や友達の話には大切なことがたくさんあるので、話をしっかりと聞くと、できることや分かることが増えていくこと。

始業式の中で話した三つのことを意識して生活し、1学期終業式では成長した子どもたちの姿を見ることを楽しみにしています。



また、第1学期始業式の後には、入学式を行いました。入学式では、69名の新入生全員が参加できたことを何よりもうれしく思いました。

「おめでとうございます」と話すと、「ありがとうございます」という1年生の元気な声が返ってきたことも、うれしかったことです。1年生の元気とやる気が伝わってきた瞬間でした。

また、6年生の活躍もありました。6年生は、入学式会場の準備をしてくれました。6年生代表の「歓迎のことば」も堂々とした発表で、とても頼もしく感じました。

きっと、今日の6年生の姿を見て、1年生の子どもたちは、6年生を、すてきなお兄さん、お姉さんだと思ったはずですよ。

6年生のみなさん、これからも小原田小のリーダーとして、よろしくお願ひします。6年生のみなさんの活躍を期待しています。

69名の新1年生を加えて、令和6年度の小原田小は、454名でスタートしました。



子どもたちの成長のために、「ともに」をキーワードにして、保護者の皆様、地域の皆様と学校が「ともに」力を合わせて、教育活動を進めてまいります。令和6年度も、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※ 5月からは、学校だよりをメールで配信する予定です。メールの登録をお願いいたします。